



大学教育の現状と将来

—全国大学教員調査

大学経営・政策研究センター（東京大学 大学院教育学研究科）
<http://ump.p.u-tokyo.ac.jp/crump/>
 2019 年 11 月

**10分ほどで記入できます。是非ご回答
 ください。貴学部の学生についての調査
 (昨年秋)結果については、学部あてにお
 送っています**

- この調査は、大学で教鞭をとっておられる先生方が、大学教育にどう関わり、どのようなお考えをもっておられるのかを明らかにし、日本の大学教育のあり方を考える基礎とすることを目的としています。
- 回答は12月13日（金）頃までにご発送ください。いただいた回答はすべて統計的に処理され、個人についての情報が他の目的で使われることは決してありません。（13日以降も受け付けております。）
集計結果は2020年5月頃に標記のウェブサイトに掲載する予定です。
- この調査は、大学経営・政策研究センター（東京大学大学院教育学研究科）が『文部科学省科学研究費補助金』を得て行うものです。

「全国大学教員調査」アンケート事務局
 電話：

問1. 先生のご担当の専門分野は下のどれに区分されますか。（○は1つ）

7.3 人文科学	6.6 数物系科学	21.8 医・歯学	1.0 芸術・デザイン
2.8 法学・政治学	7.5 化学	6.7 薬学・看護学	2.7 情報
4.1 経済学・経営学	14.6 工学	2.2 健康関連	1.7 そのほか
3.0 社会学・心理学	5.1 生物学	1.3 生活科学	
4.7 教育学	5.1 農学		

問2. 先生が今学期に担当されている授業のコマ（一回 90 分程度）数はどれくらいですか。

該当するところにご記入ください。

	所属大学の学部					所属大学の大学院	他大学での非常勤
	講義 (100人以上)	講義 (50-99人)	講義 (50人未満)	演習・ゼミ・ 論文指導	実験・実 習		
コマ数	平均 4.8	平均 5.5	平均 5.5	平均 8.0	平均 10.6	平均 4.6	平均 3.6

貴学は何学期制ですか。該当するところに○をつけてください。（○は1つ）

学期制	69.8 2学期制	5.4 3学期制	22.3 4学期制
-----	--------------	-------------	--------------



先生が担当されている授業についてお聞きします。

(学部での代表的な授業についてお答えください。)

ゼミ、論文指導、実験を除きます)

問3. 1回の授業の準備・復習として、学生が何時間程度を使うことを想定しておられますか。(○は1つ)

想定する 学習時間	33.4 特に想定 していない	42.1 1時間	19.2 2時間	3.6 3時間以上
--------------	-----------------------	-------------	-------------	--------------

問4. 出席している学生について、どのように評価されますか。(○は1つずつ)

<a~c それぞれ横にお答えください>

	十分	不十分	きわめて不十分
a. 学習時間	26.5	60.6	10.9
b. 授業への積極的参加	45.2	47.5	5.4
c. 基礎学力	43.4	47.5	7.2

問5. 授業の力点をどのような点においておられますか。(○は1つずつ)

<a~e それぞれ横にお答えください>	非常に 重要	重要	重要では ない
a. 最先端の研究成果にふれさせる	12.6	57.5	28.3
b. 確実に学問の基礎を教える	70.4	26.7	1.5
c. 特定の知識・技能を習得させる	28.0	54.8	15.5
d. 自然、社会との関わりから学問の意義を教える	31.1	57.9	9.4
e. 学生の成長にきっかけを与える	47.2	47.5	3.9

問6. 授業の方法として、以下のことを行っておられますか。またそれは有効ですか。(○は1つずつ)

<a~h それぞれ横にお答えください>	行っているか			有効か		
	力を入 れている	ある 程度	行っ てい ない	非常に 有効	ある程度 有効	有効では ない
a. 達成目標を明確にする	36.4	57.2	4.7	22.0	66.8	6.1
b. 授業内容に興味がわくような工夫	55.7	41.3	1.1	36.6	56.9	2.1
c. TA などによる補助的な指導	7.1	24.5	66.5	10.7	43.9	27.0
d. 出席をとる	42.3	39.8	16.2	20.5	52.5	20.2
e. 最終試験の他に小テストやレポートなどの課題を出す	43.3	38.7	16.4	32.6	54.6	6.3
f. コメントをつけて課題などの提出物を返却する	19.9	36.5	41.9	22.4	52.4	13.4
g. 授業中に学生の意見や考えを述べさせる	23.8	46.9	27.6	26.5	53.9	10.9
h. グループワークなど、学生が参加する機会をつくる	23.3	32.3	42.6	27.0	46.3	15.1

問7. ご所属の学部での教育のあり方は、以下の点で、ここ数年の間に变化したと思われますか。(〇は1つずつ)

<a～c それぞれ横にお答えください>	強く そう思う	そう思う	そう思わない	全く そう思わない
a. 大学の教育方針	18.0	44.5	31.8	3.9
b. カリキュラム・授業編成	22.4	48.6	24.1	3.1
c. 授業の方法	10.6	44.4	39.0	4.1

問8. ご所属の学部では、教員の授業改善活動(FD)として下のようなものを行っていますか。またそれは有効ですか。

(〇は1つずつ) <a～d それぞれ横にお答えください>	行っているか			有効か		
	力を入れて いる	ある 程度	行っ てい ない	非常に 有効	ある程度 有効	有効では ない
a. 学内調査・IRによる学生の学修状況などの報告	20.6	60.1	17.2	8.9	65.1	17.4
b. 外部業者による学力・能力テスト	6.6	26.1	65.2	5.2	40.4	38.1
c. 授業の相互参観	11.7	36.4	49.9	8.3	54.0	24.3
d. 大学教育や授業についての教員間の討論	7.6	55.7	34.6	13.2	61.3	15.4

問9. 大学教育の改善の方向として、次のようなことを行っておられますか、また将来の方向として重要ですか。

(〇は1つずつ) <a～e それぞれ横にお答えください>	行っているか			将来の方向として		
	力を入れて いる	ある 程度	行っ てい ない	非常に 重要	ある程度 重要	重要で はない
a. 修得すべき知識を標準化し、それに応じてカリキュラムを体系化する	20.3	61.7	15.0	24.8	59.7	9.1
b. 週2回の授業などを通じて、学生が個々の授業科目に集中できるようにする	8.3	34.3	54.0	9.8	50.4	30.5
c. 少人数の授業を増やすよりも、授業内容、教材などを標準化し、TAなどを組織的に用いる	3.0	34.0	59.6	8.0	50.0	31.5
d. コミュニケーション能力など、授業で獲得すべき基礎能力を明確にする	16.8	56.3	23.4	23.8	57.8	11.2
e. 研究室、ゼミなどを通じて、教員や学生間の接触を強化する	38.8	47.4	10.5	44.4	45.7	3.7

問10. 先生ご自身は教育と研究について、どちらに重点をおいて考えておられますか。(〇は1つ)

	13.9 研究	49.0 どちらかといえ ば研究	30.4 どちらかといえ ば教育	5.2 教育
--	------------	------------------------	------------------------	-----------

問11. 学期中は、一週間あたり、時間をどのように配分しておられますか。また本来はどのような配分が望ましいですか。

	教育	研究	社会貢献	管理運営
現 状	時間 平均 15.2	時間 平均 13.9	時間 平均 4.9	時間 平均 9.5
望ましい配分	時間 平均 12.8	時間 平均 20.4	時間 平均 4.9	時間 平均 4.9



大学教育と大学のあり方についてうかがいます

問 12. 大学教育のありかたに、次の要因はどの程度、影響を与えてきたと考えられますか。(○は1つずつ)

<a～f それぞれ横にお答えください>

	大きな影響	ある程度	影響はない
a. 18 歳人口の減少	61.9	31.6	6.0
b. 社会全体の圧力	45.5	46.5	7.4
c. 高等教育政策	55.2	39.9	4.2
d. 大学としての方針	43.4	51.0	5.0
e. 教員の意識変化	22.8	65.5	11.2
f. 学生の変化	50.4	42.7	6.3

問 13. 大学教育全般について、以下のような意見についてどう考えられますか。(○は1つずつ)

<a～f それぞれ横にお答えください>

	強く そう思う	そう 思う	そう思わ ない	全くそう 思わない
a. 自分の経験した学部教育より、現在のほうが良くなっている	13.5	41.3	32.3	12.1
b. 誰にとっても意味がある教育として大学教育の理念を考え直すべきだ	8.6	39.9	41.1	9.0
c. 授業料が高くなっても、高質の教育を行うべきだ	12.3	38.8	39.4	8.3
d. 大学と一般社会の認識ギャップが広がっている	17.6	41.1	36.9	3.4
e. 学士課程は教育プログラムとして、達成目標を明確にし、教員は所属組織を超えて授業を担当できるようにする	8.5	46.6	35.5	8.0
f. 教育と研究の両立は難しい	24.4	37.2	32.5	5.3

問 14. 大学の管理運営についてどう考えられますか。(○は1つずつ)

<a～e それぞれ横にお答えください>

	強く そう思う	そう 思う	そう思わ ない	全く そう思わない
a. 学長の選任に、教員は投票で参加すべきだ	36.8	46.5	13.5	2.2
b. 学長・理事会による管理・運営は良く機能している	2.5	40.3	39.3	16.7
c. 大学内での改革の余地は少ない	19.5	55.7	19.5	4.3
d. 教員の管理運営への参加は縮小してもよい	17.2	45.8	31.0	5.1
e. 学部・学科による縦割りは、柔軟化したほうがよい	17.2	58.9	20.1	2.7

問 15. ご所属の大学全体の課題についてどのように考えられますか。(○は1つずつ)

<a～d それぞれ横にお答えください>

	現状で 特に問題ない	ある程度 重要な課題	きわめて 重要な課題
a. 入学者の確保	30.3	41.2	28.0
b. 教育改善	16.3	60.4	22.7
c. 研究水準の高度化	13.8	46.7	38.8
d. 情報公開	33.4	54.8	11.0

問 16. 教員の評価、処遇について以下のようなことを行っていますか。またそれは必要ですか。(○は1つずつ)

<a～e それぞれ横にお答えください>	行っているか		必要か		
	行っ て い る	行っ て い な い	非常 に 必 要	ある 程 度 必 要	必要 で は な い
a. 個々の教員について、教育と研究、その他への エフォートの配分の明確化	49.3	49.3	19.5	57.3	19.7
b. 一定の期間ごとの、 <u>研究の実績</u> の評価（自己評 価を除く）	73.8	24.9	23.7	64.2	9.0
c. <u>教育実績</u> ・教育改善への寄与の評価	62.1	36.3	25.7	62.5	8.2
d. 実績評価に結びついた手当、昇給	44.8	53.6	29.2	54.5	12.7
e. 若手教員の教育負担の軽減	36.3	62.0	34.7	51.2	10.4

問 17. 給与・処遇について下のような方向での変化についてどう思われますか。(○は1つずつ)

<a～c それぞれ横にお答えください>	強く そう 思う	そう 思う	そう 思 わ な い	全 く そ う 思 わ な い
a. 現在の給与体系は高年齢層を優遇しすぎている	10.9	23.5	54.3	10.1
b. 大学間の移動をしやすい環境を作るべきだ	20.8	51.3	23.6	3.2
c. インセンティブをつけて、年俸制を選べるようにするべきだ	9.4	32.3	41.9	14.9

問 18. 高等教育政策についてどう考えられますか。(○は1つずつ)

<a～c それぞれ横にお答えください>	強く そう 思う	そう 思う	そう 思 わ な い	全 く そ う 思 わ な い
a. 文科省による学生定員管理は柔軟化すべきだ	26.5	48.0	20.7	3.1
b. GP などの競争資金は、大学改革にそれなりの役割を果たした	2.5	37.5	41.1	16.1
c. GP などの競争資金は、詳細な条件が付けられているために大 学に無用な努力を強いている	37.0	44.3	14.5	1.1



ご所属の大学と先生ご自身について

問 19. ご所属の大学についてお聞きます。(○は1つずつ)

a. 設置別	62.2 国立	9.8 公立	27.6 私立	
b. 全学の学生数	11.7 1,000 人未満	21.1 1,000 人以上 3,000 人未満	25.7 3,000 人以上 8,000 人未満	38.6 8,000 人以上

問 20. 先生の年齢、職階、任用形態についてご記入ください。(○は1つずつ)

a. 年齢	17.4 20・30歳代	33.3 40歳代	31.9 50歳代	17.0 60歳代以上
b. 職階	28.2 講師・助教	28.6 准教授	42.2 教授	0.6 その他
c. 任期	81.4 任期なし	17.9 任期付き		

問 21. 大学教員になるまでの経緯、任用形態についてお聞きます。(○は1つずつ)

a. 大学教員（講師以上）になった年齢	77.2 20・30歳代	16.0 40歳代	3.7 50歳代	1.0 60歳代以上	
b. 教員になる前の 留学経験（1 年以上）	69.9 なし	29.4 あり			
c. 大学以外での 勤務経験 （○は2 つ以上も可）	42.8 なし	18.7 研究所	16.5 教員、専門職	13.2 企業・官庁	16.2 そのほか

大学教育のありかた、大学教育についての政策、この調査などについて、ご意見を自由にご記入ください。

別紙に印字して、同封していただいても結構です。

調査項目はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

大学別に集計するために通し番号をつけています